



視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	市民への正確な情報提供	施設見学依頼を100%受け入れ(団体の事前申込み見学)	100%受け入れ 見学 19回 261人	B	受入回数は減ったが、 受入人数は増 (H30:31回220人)
	使用者の協議会の開催	年1回以上	1回開催	B	
	と畜場使用数	豚換算1日平均865頭以上	1日平均821頭	C	指標を下回った。
	苦情・要望等への対応	対応マニュアルの遵守	対応マニュアルの 遵守	B	
	使用者の平等の確保	100%	100%	B	
財 務	と畜1頭あたりの委託料(経 常)委託料/豚換算頭数)	840円以下	890円	C	指標を上回った。
業 務	年間稼働日数	243日以上	243日	B	
	施設設備に起因する苦情・事故	0件	0件	B	施設の老朽化は進行 しているものの、事故 は発生しなかった。
	関係法令で規定する点検、検査 の実施率	100%	100%	B	
	防災訓練の実施回数	年1回以上	1回実施	B	
	業務仕様書等に定める事項の 遵守	その他業務仕様書等に定める 事項の遵守	遵守	B	
人 材	衛生講習会の実施	年1回以上	3回実施	B	
	廃水施設管理講習会等の実施 又は受講	年1回以上	6回実施	B	
	施設管理にかかる各種資格を有 する職員の配置	施設管理担当5名	5名	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守	B	

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・小規模農場など後継者不足から農場の閉鎖が相次ぎ、県内の生産頭数自体が減少傾向にあることや、新発田市に設置された民間と畜場の稼働により、当センターの取り扱い頭数は前年と比較して約6,500頭ほど減少、評価指標を達成することはできなかった。  
取扱量の確保には市内及び県内生産頭数の維持や増加が必要とされ、畜産振興支援策の要望など行政に働きかけていきたい。  
・経費の執行割合が高い光熱水費においては、一般送電事業者のほか小売電気事業者(新電力)も加えて電気の供給に係る契約を締結するなど、積極的な経費の削減に取り組んでいる。  
・開設より26年を経過し、施設の老朽化に伴う故障など発生はしたが、いずれも操業を中止する事象はなかった。  
但し、施設由来の異物が落下し出荷前の製品に付着が認められること、補充用フロンガスの製造終了により冷凍・冷蔵施設の安定稼働に不安要素があるなど施設・設備の課題が山積している。  
・職員が一丸となりHACCPによる衛生管理の試行に取り組んでいることや、厚労省HACCPチャレンジ事業者にも登録され、今後は外部認証の取得を目指している。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )

○H30年度に引き続き同一項目2か所で評価Cになったが、公平性・公共性の高い業務であり、生産農家の減少や気象状況の影響による出荷頭数の減少に伴う外部要因であると思料できます。  
○指定管理者による運営状況について、全体的には適正に運営されていると評価します。  
○食の安心・安全な流通体制の一役を担う業務として、さらなる質の向上を図るため、HACCP手法を取り入れた自主衛生管理を開始されておりますので、今後の公的認証取得に向けた取り組みに期待します。  
○施設の老朽化が進む中、点検・検査を行いながら更新等を検討し、適正な管理を継続できるよう、今後も市と一体となって適正な運営を維持できるよう努めていただきたいと思います。  
○人材育成部門は目標達成の評価をしていますが、従業員の定年退職の将来動向を勘案し、さらなる人材育成等を期待します。